

<図書委員オススメ本セレクション> Vol. 2

「時給三〇〇円の死神」 藤まる

ある日、高校生の佐倉真司は同級生の花森雪希からバイトに誘われる。「それじゃキミを死神として採用するね」そう言われて始まった時給 300 円の「死神」のアルバイト。彼らの仕事は、この世に未練がある「死者」をあの世に送り出すこと。様々な「死者」と出会う中で気付く「幸せ」の意味。すべての仕事が終わった時、彼らは何を思うのか。「今を生きる」事の大切さを強く実感する、儚くて悲しい感動の物語です。

2年女子

「おんぶにだっこ」 さくらももこ

「ちびまる子ちゃん」で知られるさくらももこさんが「まる子」以前の幼年期のエピソードをまとめたエッセイ。ゲラゲラ笑える話はもちろん、ちょっとしみり、読み終わったらほっこりするような話まで、全部で 24 個の短いお話が入っています。読んだ後は、自分の小さいころのことが思い浮かんでくるはず…。

1年女子

「落窪物語」 訳 氷室冴子

日本版シンデレラストーリー。古典入試の問題としてもみかけるところも……悪い継母がだんだん主人公の夫に追い詰められて、だけど……！！ストレスがたまっている人にもおすすめです。勉強にもなるストレス発散にもなるこの本を読むのは一石二鳥です。ぜひ、読んでみてください。

3年女子

「ニッポンのしきたり」 土屋晴仁

皆さんはどのように英語を学習しているでしょうか。もし、読書の合間に英語を学ぶことができれば勉強が楽しくなると思いませんか？この本は日本のしきたりをテーマに書かれた文章の隣にその文の英訳が書かれています。日本文を読みながら気が向いたときに英訳を読むだけでもあなたの英語力はぐっと上がるはずですよ。読み終わる頃には英語が得意科目になっているかもしれません。

3年女子

「響 ～小説家になる方法～」 柳本光晴

元樺坂 46、平手友梨奈が映画で主演を務めたことでも話題になったこの作品ですが、不器用で真っ直ぐな主人公、鮎喰響に共感や尊敬を覚える人は少なくないと思います。1人の天才高校生が腐った社会を変えていく。一見あるあるのように思える展開ですが、何かわからない引きつける物があり、世界の中に引き込まれていく感触がありました。是非、読んでみてください。

1年男子

「確率でみる人生」 鈴木義一郎

この本は身近に起こることが起きる確率や、人生で一度も起こらないであろう事が起こる確率など生活で起こるかもしれない様々な確率を求めています。あなたの人生で起ったこと、確率をこの本を読んで考えてみてください。

2年男子

「きみの友だち」 重松清

ある事件によって足が不自由になった恵美ちゃんはクラスの誰とも付き合わなくなったが、病気がちの由香ちゃんとはずっと一緒に……。それぞれの物語でそれぞれの思いや考え、苦しさ、嬉しさがあって、その中からほんとうの「友だち」の意味のヒントをもらえるようなお話です。

1年女子

「精霊の守り人」 上橋菜穂子

女用心棒のバルサはあることがきっかけで、その命を父帝に狙われている皇子を託されるが、その命を狙うものは人だけではなかった。様々な危機から幼い皇子を守るため、バルサは身体を張って戦い続ける。アニメやドラマにもなっており、数多くの賞を受賞しているロングセラー作品です。

3年男子